※令和４年度以降入学生用

学校番号	201

令和５年度　社会科

教科	社会科	科目	地理探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）　高等地図帳改定版（二宮書店）						
副教材等	新詳　地理資料　COMPLETE2022（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究では、世界の諸課題を地球的な視野で捉えることにより、持続可能な社会の在り方について探究する力を身につけます。
授業では教科書・資料集を活用するとともに、何度かプレゼンテーションやレポート提出課題を行い、いわゆる定期考査とともに評価します。現代では「教科書に基づいて学ぶ知識」も「資料に基づいて行う思考」も「主体的に学び、それを人に伝える」力もすべて必要だと考えているからです。

２　学習の到達目標

・知識を蓄える。系統地理・地誌の基礎的知識を培い、多角的に物事をとらえる技能を養う。
・発信できる力を養う。プレゼンテーションや振り返り学習を通じて、他者への情報発信や、他の意見を取り入れ、自らの学習に繋げることができるように考えることができるようになる。
・地図・資料から情報を読み取り、課題解決に役立てようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○　地理的事象と自然環境や人々の生活、文化の多様性などとの関りについて理解している。 ○　地理的情報を地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いてまとめたり表現したりする技能を身に着けている。	○　地理に関わる事象の背景や意義，特色や相互の関連を，位置や分布、場所、人間と自然環境との関りなどに着目して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて考えたりすることができている。 ○　考察，構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。	○　地理的事象について、よりよい社会を実現するために、地理的諸課題を主体的に追究し、解決しようとしている。 ○　世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚が深まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　自然環境	1節　地形 1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形	a：地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形の特徴や成因と、それが人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 b:大地形や小地形などの特徴や成因について、それが人間活動とどのように関わっているかについて考察し、表現している。 c：地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		2節　気候 1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象	a：気温や降水量，風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 b：気温や降水量、風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		3節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災・減災の取り組み	a:　日本列島の地形や気候など多様な自然環境について、その特徴や、自然災害との関わりについて理解している。 b:　日本列島の地形や気候など多様な自然環境について、その特徴や、自然災害との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		4節　地球環境問題 1　地球環境問題とは 2　さまざまな地球環境問題 3　地球環境問題の解決に向けた取り組み	a:, 地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すために、様々な地球環境問題を解決することの必要性と、そのために必要な取り組みについて理解している。 b:　地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すために、様々な地球環境問題を解決することの必要性と、そのために必要な取り組みについて、多面的・多角的に考察し，表現している。 c:　地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
	第2章　資源と産業	1節　農林水産業 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業	a:農林水産業の成り立ちやその分布、世界及び日本の農業の現状や課題について理解している。 b:　農林水産業の成り立ちやその分布、世界及び日本の農業の現状や課題について、多面的・多角的に考察し，表現している。 c:農林水産業の現状や課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		2節　食料問題 1　世界の食料問題 2　日本の食料問題	a:食料の分配の世界的な偏りや、その原因ついて理解している。 b:　食料の分配の世界的な偏りや、その原因ついて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		3節　エネルギー･鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用	a:世界のエネルギー･鉱産資源の分布の偏り、それがどのように生活や産業に利用されているか、また、そういった不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 b:：世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏り、それがどのように生活や産業に利用されているか、また、そういった不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
2学期		4節　資源･エネルギー問題 1　資源･エネルギーをめぐる課題 2　日本の資源･エネルギー問題	a:これまでの資源･エネルギー問題の考え方に対し、今後、そういった諸問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かを理解している。 b:　これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、そういった諸問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		5 節　工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業	a:さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業がどのように発展してきたのか、また、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。 b:　さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業がどのように発展してきたのか、また、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		6 節　第 3 次産業 1　経済発展と第 3 次産業 2　商業の現状と変化 3　商業以外のさまざまな第 3 次産業	a:経済が発展し、物やサービスへの需要が高まった国において主力の産業となった第 3 次産業の現状について理解している。 ②経済が発展し、物やサービスへの需要が高まった国において主力の産業となった第 3 次産業の現状について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第 3 次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第3章　交通・通信と観光、貿易	1節　交通・通信 1　世界を結ぶ交通 2　日本の交通の特徴 3　情報通信の発達	a:社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達と、その傾向や地域性、地域間格差について理解している。 b: 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達と、その傾向や地域性、地域間格差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		2節　観光 1　余暇の拡大と観光産業 2　日本の観光とその変化	a:日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。 b:日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		3節　貿易と経済圏 1　世界の貿易と地域間格差 2　貿易の自由化と経済連携 3　日本の貿易	a:拡大を続けている世界の貿易における、地域性や地域間格差が現れてきている理由について理解している。 b: 拡大を続けている世界の貿易における、地域性や地域間格差が現れてきている理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

3学期	第4章　人口　村落・都市	1節　人口 1　世界の人口 2　人口の移動	a:世界の人口の推移や、人口ピラミッドを通じてその国の特徴を把握する。 b:各国の人口推移、分布を資料から読み解き、多角的に人口問題を考える。 c:人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 人口ピラミッドの作成 発表内容	振り返り
	第4章　人口　村落・都市	2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　日本の人口問題	a:世界人口の諸問題、日本の人口諸問題について理解する b:社会情勢や様々な要因を考え考察する。 c: 人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造	a:村落の形態・特徴・機能を理解する b:時代背景と村落の形成段階を関連させて考察する c:都市と村落について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		4節　都市・居住問題 1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	a:人口移動による都市の居住問題の特徴と形成を理解する。 b:世界と日本の都市の問題点を比べ、そのように至った経緯や環境、時代背景について深く考察する。 c: 都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		1節　衣食住 1　世界の衣服と食生活 2　世界の住居と衣食住の画一化	a:世界の気候・地形による衣食住の形態・特徴・形成過程を理解する。 b:自然地理や歴史・宗教と衣食住の関係性を精査し、系統立てて各国の衣食住環境をまとめる。 c: 世界の衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
	第5章　生活文化　民族・宗教	2節　民族・宗教と民族問題 1　世界の民族・言語 2　世界の宗教 3　さまざまな民族問題 4　多文化の共生に向けた取り組み	a:世界各国の民族・言語・宗教の基礎的知識を高める。 b:民族・宗教の相違により広がる諸問題について、歴史観・文化・風土・自然地理などの面から捉え考察する。 c: 世界の民族・宗教と民族問題において、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		3節　国家の領域と領土問題 1　現代世界と国家 2　領土問題と解決への取り組み 3　日本の領域と領土をめぐる問題	a:領土の正確な定義について理解し、国際的な日本の領土問題について考えられるよう基礎知識を築く。 b:領海や排他的経済水域、接続水域などの範囲を明確に理解するとともに、国際的に侵犯してはならない範囲について考える。 c: よりよい国際社会の実現を視野に複数国間でみられる課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度